

世界に平和を・戦争の基地はいらない

羽村平和委員会発・横田基地ミニ情報 2010.11.15 No. 90 連絡先 FAX 042-555-1911



「横田基地は税、財政上も阻害要因」 返還されたところでは

福生市長は9月議会で「福生市の狭い行政面積の3分の1が横田基地に占められている現実には、街づくりでも、税・財政上も、騒音はじめ市民生活にも影響をあたえており、様々な阻害要因となっている。」と答弁しましたが、基地返還で経済が発展している事例があります。

基地返還後の那覇新都心では、所得誘発額は11倍、雇用誘発者数は15倍になっています。返還前は射撃場や飛行場だった北谷町では、所得誘発額は180倍、雇用誘発者数は252倍です。

普天間基地や横田基地が返還されれば、宜野湾市も、そして福生市や羽村市など周辺自治体も、素晴らしい街づくりとともに豊かな経済発展が展望できるでしょう。



◎那覇新都心（なはしんとしん）は、沖縄県那覇市の北部に位置しています。1987年（昭和62年）に全面返還された米軍牧港住宅地区の跡地（192ha）を含む面積214haを造成した地域で、大型ショッピングセンター、県立博物館・美術館などがあります。沖縄都市モノレール線（ゆいレール）におもろまち駅がありますが、「おもろまち」という地名は公募により1999年（平成11年）から住居表示施行されました。「おもろ」とは歌の意で、沖縄方言の「思い」から来た語です。ほかに銘苺（めかる）、安謝（あじゃ）、天久（あめく）、上之屋（うえのや）の地域があります。（写真はwikipediaより、文も参照）

路上にロープを張り バイク女性に重傷負わせた米兵の子に 有罪判決

昨年8月13日夜11時半ごろ、知人ら3人と市道にロープを張りバイクの女性（当時23歳）を転倒させて頭蓋骨骨折などの重傷を負わせたとして、傷害と往来妨害の罪に問われた米軍横田基地所属の米兵の子（19歳）に対する判決が12日、東京地裁立川支部でありました。

福崎伸一郎裁判長は、少年が深夜の路上に自らロープを張ることを提案し、中心になって行動した点や後遺症の残る被害者の苦痛を認め「何の処分もしなければ社会が許さない」とし、ほかの3人との処遇の差については「当時の共犯少年の年齢・立場や、被告が果たした役割に照らすと、違いはやむをえない」と述べ、被告に対し「米兵の家族に保護観察を有効に機能させるのは至難のわざ。家庭裁判所に移して不処分となるより、過酷にならない刑事処分で臨むのが相当」と、懲役2年、執行猶予3年の有罪判決を言い渡しました。

この事件では、少年らが偽名を使い基地内に逃げ込んだり、少年らの身柄の引き渡しに米軍側が当初応じなかったり、殺人未遂容疑で逮捕されたほかの少年3人が釈放されています。

今年9月、岩国の市道で米軍属が、恩田美雄さん（66歳）を自動車で轢殺事故を起こしましたが、公務中（通勤途中）と言うことで日本ではなく米国の軍法で裁かれます。変ですよ。

日米地位協定第17条では、**公務執行中の事件は、アメリカに裁判権がある**とされています。また、米軍の構成員及び軍属、家族が日本国内で犯した罪で日本の法令で罰することができるもの（すなわち公務外）について、日本に裁判権があることになっていますが、実際は、**日本にとって、著しく重要と考えられる事件以外については、第1次裁判権を行使するつもりがない**、と裏では密約を交わしています。横田基地の外にも米軍や家族が居住しています。人ごとではありません。屈辱的な地位協定の抜本改定を求めましょう。米軍基地を撤去させましょう。

12月3日から10日まで 大規模紛争を想定し 4万4千人で 日米共同統合実動演習

(No. 90 裏面)

11月11日、統合幕僚監部が〈平成22年度日米共同統合演習（実動演習）について〉のお知らせをしています。陸・海・空軍、海兵隊の米4軍と、陸・海・空3自衛隊による実動演習です。

●演習の目的 我が国防衛のための日米共同対処に必要な自衛隊・米軍及び自衛隊相互間の連携要領を実動により演練し、共同統合運用能力の維持・向上を図る

●実施場所 わが国周辺海・空域及び基地等

●統裁官 (1) 自衛隊：統合幕僚長 陸将 折木良一

(2) 米軍：米第13空軍司令官 空軍中将 ハーバード・カーライル

●主要演練項目 弾道ミサイル対処を含む航空諸作戦

●参加規模 (1) 自衛隊：人員約34,000名、艦艇約40隻、航空機約250機、

(2) 米軍：人員約10,000名、艦艇約20隻、航空機約150機

今回の日米共同統合実動演習は3年ぶり10回目（第1回目は1986年度に実施）です。

3年前の参加規模は、自衛隊の人員約22,500名、艦艇約90隻、航空機約400機、米軍の人員約8,500名、艦艇約10隻、航空機約50機でした。31,000名で驚きましたが今回は44,000名。

米側のこれまでの統裁官は在日米軍司令官でしたが、今回初めて、アジア・太平洋全域（朝鮮半島除く）を責任区域とする米第13空軍（ケニー司令部）の司令官、ハーバード・カーライル空軍中将が任に就きます。横田基地には米第13空軍（ケニー司令部）の第1分遣隊が発足し、米軍との太いパイプが繋がりましたが、今回の演習は米軍主導のもとで、島嶼防衛では、米空母ジョージ・ワシントンを含む日米の海空部隊が制海権、制空権を確保し、相手方の上陸を阻止する訓練をし、弾道ミサイル対処では、レーダーで探知・追尾し、イージス艦搭載の海上配備の迎撃ミサイルSM3や、各地に配備されているPAC3で撃ち落とす一連の動きを訓練するとされています。横田基地の司令部機能の日米一体化・強化は、危険を増大させています。

横田基地で16日から 緊急管理演習(EME)や 運用即応演習(ORE)

11月16日（火）には緊急管理演習で傷病兵の搬送訓練が行われます。

17日から19日まで24時間態勢で基地が攻撃を受けたと想定して運用即応演習が行われます。航空機の運用等は行わない予定。PAS、GBS及び煙幕等は使用します。

《参考》

●緊急管理演習（EME）：大地震、航空機事故、バスと航空機との衝突事故、踏切における電車とバスの衝突など様々な状況を想定した重大事故における対応訓練

●運用即応演習（ORE）：仮想戦闘環境における基地の機能テストを行なう。具体的には、テロ攻撃や航空機又は地上戦闘力等による基地への攻撃を想定し、実践的な即応体制をとることを目的とした演習

●PAS（パブリック・アドレス・システム）：以前は、ジャイアントボイスと呼んでいたもので、大音響の出る特殊なスピーカーを使用し、サイレンや広報を行なう。

●GBS（グラウンド・バースト・シュミレータ）：地上爆発模擬装置。金属製の容器内で爆発物を破裂させ、爆発音を発生させる。（以上は福生市ホームページより要約）

（訂正 No.86 裏面「所沢通信施設で、2万9百ガロン」に。No.88 裏面「C130からパラシュート降下訓練」に）